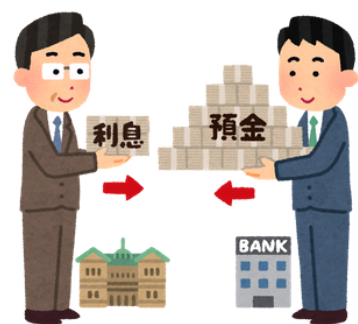


【公務員試験の時事対策】

【金融政策】



日本銀行

◎金融政策とは？

なあ俺の教養不足かもしれないけど、
そもそも金融政策って何だ？



ネコ君

日本の中央銀行である日本銀行(以下日
銀)は物価の安定や経済の安定のために
金融市場を通じて『市場のお金の量を調
整』する、これを金融政策と言うんだ！



せんせい

全然イメージできないんだが...
もっとわかりやすく教えてくれよ！



ネコ君

【不景気の際は景気を良くしたい】



不況脱却に向けて
お金を回したい！



日本銀行

貸し出しの金利を
下げる

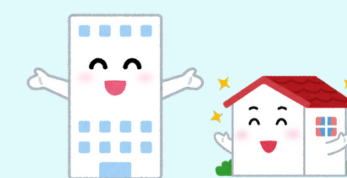
通貨量が増える



銀行



お金が回る



景気が良くなる

企業・個人

【好景気の際は景気の波を抑制したい】



景気の過熱を抑制
したい！



日本銀行

貸し出しの金利を
上げる

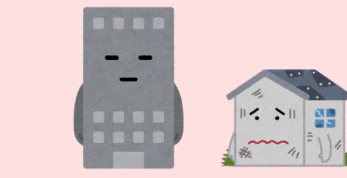
通貨量が減る



銀行



お金が回ら
なくなる



景気が悪くなる

企業・個人

例えば、世の中が**不景気**の時は景気を良くしていきたいよね！



せんせい

じゃあどうするのかっていうと、日銀が銀行から国債を買って、**市場に出回るお金の量を増やす**んだ！



せんせい

ふむふむ。ということは銀行に一気にお金がたくさん入り込むわけだな！



ネコ君

うん！銀行にお金があるということは企業や個人にお金が貸しやすくなるよね！



せんせい

なるほど！お金が回っていくから景気が良くなるわけだな！



ネコ君

ということ！それでね、景気には波があるでしょ？景気が良くなりすぎたらおさえておさえて...悪くなったら持ち上げて持ち上げて...って調節していくことが大事なんだ！



せんせい

うーん、景気が良くなるのをおさえるのはなんでなの？🤔



ネコ君

景気が良くなりすぎた後に一気に不景気になると企業や個人へのダメージがでかすぎるからだよ！



せんせい

ネコ君も『バブル崩壊』って聞いたことあるでしょ？こうなると日本経済の停滞につながっちゃうからね！



せんせい

だから景気がいい時は逆に日銀が銀行に国債を売って、**市場に出回るお金の量を減らす**というわけだ。



なるほど！理解できたわ！
金融政策のおかげで俺たちの日常生活が安定しているということだね！



うん！景気の波を穏やかにするために金融面で日銀が色々な政策を行っているというわけだ！



そして不景気の時に日銀が国債などを買って通貨量を増やすことを買いオペレーションというんだ！



ふ～ん。じゃあ好景気の時に日銀が国債などを売って通貨量を減らすことは売りオペレーションっていうんだな。



ご名答！あまり意識しなくていいけどこれらを公開市場操作というんだ！



これで一番根本の部分の説明は終わりだよ！
一旦、日銀がこれまでに取り組んだ金融政策についてまとめて紹介するね！



◎金融政策の大まかな流れ

【金融政策の流れ】

- 1999年2月 ゼロ金利政策 (速水)
- 2001年3月 量的緩和政策 (速水)
- 2010年10月 包括的な金融緩和政策 (白川)
- 2013年1月 「物価安定の目標」を導入 (白川)
- 2013年4月 量的・質的金融緩和 (黒田)
- 2016年1月 マイナス金利付き量的・質的金融緩和 (黒田)
- 2016年9月 長短金利操作付き量的・質的金融緩和 (黒田)
- 2018年7月 長短金利操作付き量的・質的金融緩和の枠組み修正 (黒田)
- 2019年4月 フォワードガイダンス修正 (黒田)
- 2019年10月 フォワードガイダンス修正 (黒田)
- 2020年3月 コロナの影響で金融政策決定会合を前倒し！追加の金融緩和決定 (黒田)

消費者物価の前年度比+2%を物価安定の目標とする！



その目標はいいけど、お前(白川)の考え方じゃ日本は衰退する！もっと大胆な金融緩和が必要だ！



うむ。アベノミクスの3本の矢の1つが金融政策だ！力を入れていくぞ！黒田氏に日銀総裁を任せる！(2013年3月)



お任せください！物価上昇率2%を目標にした本格的なデフレ脱却にむけて『量的・質的金融緩和』を行っていくぞ！(2013年4月)



量的・質的金融緩和における「量」とは、操作の対象を従来の金利からマネタリーベースへシフトし、その増大をはかること。



「質」とは、長期国債、上場投資信託(ETF)等の保有額の拡大を意味するぞ！



イメージわかないなあ。
デフレ脱却に向けて大規模な政策を打ち出したってことだよな！



うん！「量的・質的金融緩和」は別名「異次元緩和」とも呼ばれるほど大胆な金融政策だったんだ！



簡単に言うと、日銀が供給するお金の量(マネタリーベース)を2年間で2倍に増やし、そうすることで今後2年程度で物価上昇率(インフレ率)2%達成を目指すというものだよ。



実際に政策目標の『物価上昇率2%』は達成できなかったんだけど、円安、株高で企業業績は回復し、雇用も改善することができたんだ！



◎2016年1月

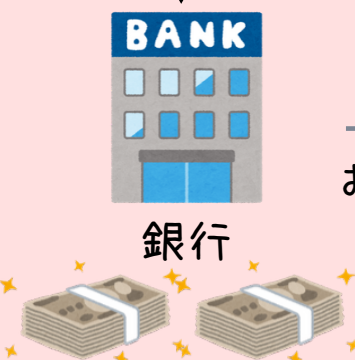
『マイナス金利付き量的・質的金融緩和』を導入するぞ！(2016年1月)



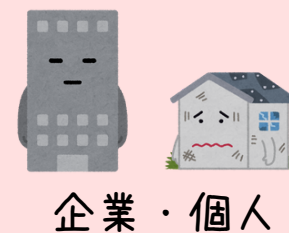
ココまでの異次元緩和で、年0.1%の金利が付く日銀の当座預金には法律で定められた以上の準備預金が預けられていたんだ！(超過準備預金)



通貨量が増えてるけど



お金が回って
なかった



そこで日銀が導入したマイナス金利はこの超過準備預金部分の金利をマイナス0.1%にすることで、日銀の当座預金に預けさせないようにし、貸し出しや市場での投資に回させようという意図があるんだ！



簡単に言うと、必要以上に日銀に預けるとマイナス金利を適用しますよ～銀行なんだから、ちゃんと貸出を行ってくださいよ～というペナルティーのようなものだね！



なるほどね！通貨量が増えたらお金が回らなきゃいけないのに、銀行が蓄えただけで終わっちゃったのか。



◎2016年9月

『**長短金利操作付き量的・質的金融緩和**』を導入するぞ！(2016年9月)



『イールドカーブコントロール』と『オーバーシュート型コミットメント』の2つ始めたんだ！



おい、そういう経済用語をポンポン使うんじゃないよ！



ごめんごめん、実は過激な金融政策をやりすぎて、長期金利(10年物国債)までマイナスになっちゃったんだ。



10年物国債買ってても利回りがマイナスってことは増えないどころかむしろマイナスということか。



うん！それで『イールドカーブコントロール』っていうのは、金融市場調節の操作目的として短期金利と長期金利を操作することなんだ。



短期金利に関しては、マイナス金利を維持し、長期金利に関しては10年物国際金利がおおむね0%で推移するように長期国債の買い入れを実施する！



- 10年物より短い国債の金利はマイナスに
- 10年物国債は0%に誘導
- 10年物以上の国債金利はプラスに
こういう流れを作っていきたかったわけだ！

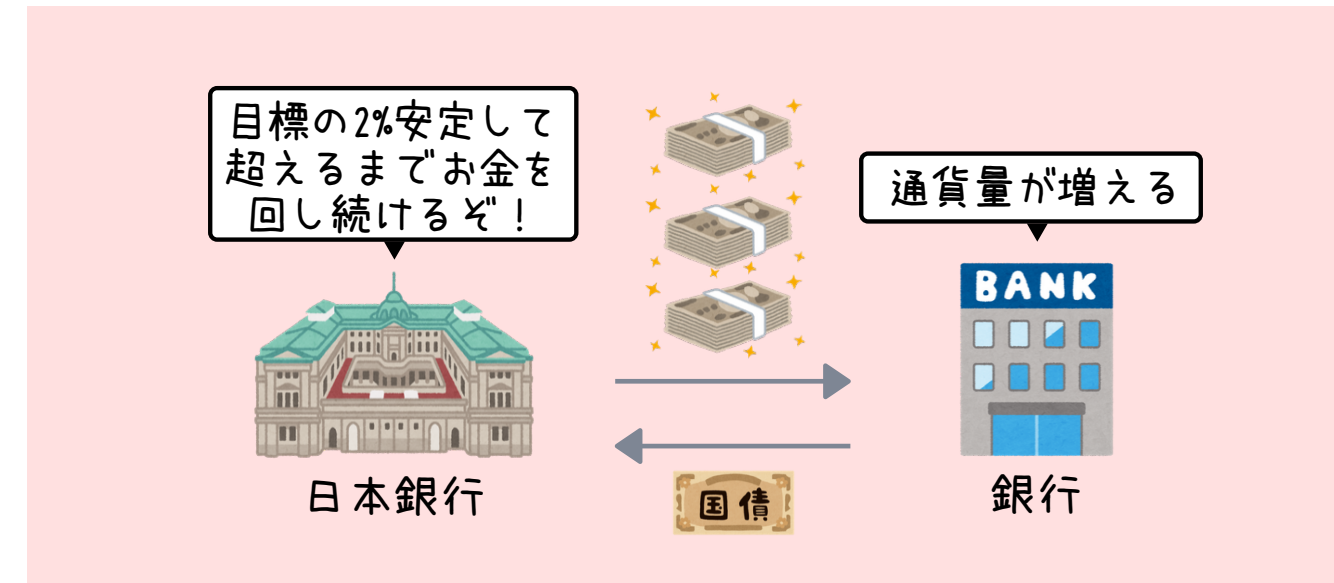


せんせい

『オーバーシュート型コミットメント』とは、消費者物価上昇率の実績値が安定的に2%の「物価安定の目標」を超えるまで、通貨の供給(マネタリーベース)拡大を継続しますよっていう宣言(約束)のことだね！



せんせい



物価上昇率が2%を行き過ぎる(オーバーシュートする)まで金融緩和の継続を公約するってことね！



ネコ君

◎2018年7月～

『量的・質的金融緩和』の枠組みを修正する！政策金利のフォワードガイダンスを導入するぞ！（2018年7月）



フォワードガイダンスというのは前もって将来における金融政策の方針を中央銀行が表明すること！



当分の間、現在の極めて低い長短金利の水準を維持する！このまま強力な金融緩和を続けるつもりだ！



そして、2019年4月と10月に政策金利に関するフォワードガイダンスの修正を行ったんだ！



政策金利については『物価安定の目標』に向けたモメンタムが損なわれるおそれについて、引き続き注意が必要な間、現在の長短金利の水準、または、それを下回る水準で推移することを想定に変更する！（2019年10月）



「現在の長短金利の水準を下回る」という文言を新たに追加することで、政策金利を引き下げる可能性があることを明記したわけだ。



◎2020年3月～

2020年3月、新型コロナウイルスの感染拡大による景気の悪化を食い止めるため、3年8カ月ぶりの追加の金融緩和に踏み切ることを決定したんだ！



多くの株式をまとめてつくる上場投資信託(ETF)などの買い入れ額を一気に2倍に増やし、金融市場に大量の資金を供給するぞ！



また、今回はじめて金融政策決定会合を前倒ししたんだ！



今回の金融緩和のポイントはコレだ！

- 金融市場に大量の資金を供給するため上場投資信託(ETF)や不動産投資信託(REIT)買い入れ額を当面の間2倍に
- 企業の資金繰りを支援するため、企業が発行する商業紙（無担保の約束手形）と社債の買い入れを増加
- 中小企業の資金繰り支援では、金融機関に原資をゼロ金利で貸し付ける制度を新設



※2020年3月末時点